

入舟 コミ協だより

第28号

発行：'21.9.20

発行所：入舟地区

コミュニティ協議会

責任者：田村 幸夫

TEL 223-3532



「旧コミセン跡地の活用」について 副会長 鈴木 喬

これまでの経緯 19年にコミセンが旧入舟小学校跡に移転することが決定してから、コミセン跡地検討委員会を立ち上げ、市との意見交換を行いながら跡地利用に関し検討してきた。20年9月に市は下町地区の人口減対策と買い物対策として、跡地に住宅とスーパーの両方を作る事を条件として業者に事業化の可否について聞き取り調査を行った。

(R2.9.25)その結果、住宅とスーパーの両立は難しく、スーパー単独ならば可能性はあるとの事でした。この結果を踏まえ、跡地委員会は ①旧コミセンの老朽化が激しく、解体が急務である。②買い物難民対策が必要であり、スーパー単独誘致を希望する事を決定し、要望書にまとめた

要望書(R03.2.17)要望を市長に提出した。

要望事項：①老朽化施設を早急に除却。②スーパーマーケット等の誘導 ③津波の浸水被害を想定し屋上階などを避難場所とする、またイトインコーナーなどを設置 ④入舟健康センターを「中央健康センター」に改称、健康づくりの拠点とする。⑤「しもまちに住んでみたい」の仕掛けづくりに支援を・

(R03.7.6)区役所は「旧北部総合コミュニティーセンター跡地の活用方針」の決定を報道資料として公開した。

跡地の活用方針 (R03.7.6)	
所在地・地積	新潟市中央区附船町1丁目字下島4385-1 他2筆 (約5,800㎡)
売却方式	条件付き一般競争入札
主要条件(案)	・既存建物の解体撤去 ・食料品スーパーの整備
売却予定時期	令和4年2月頃(予定)



(みなとぴあ付近)



早川堀 (復元) (みなとぴあ)



早川堀 (改良)



かもめ公園



やすらぎ堤



四間堀 (復元) (みなとぴあ)



荷揚げ場脇 (みなとぴあ)

<川と海にはさまれた歴史ある下町地区 ゆっくりと散策は如何でしょうか> ;

早川堀通り地域連合会について

理事長 高橋誠一

令和3年4月4日 沿線10自治・町内会（入舟地区8自治・町内会 豊照地区2自治・町内会）による早川堀通りの維持管理及び賑わいづくりの団体「早川堀通り地域連合会」を設立しました。

＜これまでの関連イベント：維持管理；毎月第2,4日曜日の定期清掃，8月地域住民との一斉清掃

街灯切れの報告

賑わいづくり；5月新潟下町，早川堀通りつつじ祭り，7月柳都中学校総合学習七夕飾り，8月水辺風鈴飾り夏祭り，10月キャンドルナイトなど＞

早川堀通りから下町全体の活性化を目指し日々邁進しております。活動写真をご覧ください。又スタッフ不足です。入舟地区の皆様のご参画をお待ちしております。どうぞよろしくお願い致します。



野点川床作成



シャッターアート



新潟下町・早川堀つつじ祭り①



定期清掃工事業者も参加



柳都中学校総合学習七夕飾り



新潟下町・早川堀つつじ祭



早川堀通り整備事業講演



キャンドルナイト



新潟下町・早川堀つつじ祭②



願い事風鈴飾り



新潟下町・早川堀つつじ祭③

編集後記 コロナ禍の2年目となった。3密回避のため、昨年と同じくほとんどのイベントは中止となった。しかし、本年は自動検温測定器や飛沫防止パーティションの亚克力板設置等の感染防止の対応をした上で、自治/町内会長/及び各団体の関係者が一堂に会しての総会が実施できた。中人数の会議が可能となり、絆の再構築に向けて、一歩前進した。

跡地問題でも進展し、最終段階にはいった。今期中の決着が待たれ、今後が期待される。

編集委員； 鈴木喬、高橋誠一、田村幸夫、高山ゆり子、古寺昭治、小島良子、阿部幹雄、風間幸一、宮尾益史、中川光男